

2022年以降に中途入社した職員の声と先輩職員からの一言

Q 1 入社決め手や、魅力を教えてください。

●ワークライフバランスの充実が一番です。前職は営業職のため土日出勤も日常でしたが、年間休日や家族休暇制度の充実の魅力を感じました。(2022年入社・30代男性 / 前職・営業職)

◇先輩職員から：年次休暇、出産休暇、育児参加休暇、夏季休暇等の休暇制度が充実しています。

●公共性が高く、長く仕事を続けていくうえで安定性があることです。異業種からの転職に不安もありましたが、特別な資格や経験が必要なかったこともあり、未経験であってもチャレンジできました。(2023年入社・30代女性 / 前職・飲食業)

◇先輩職員から：愛知県土地開発公社は、愛知県が100%出資する特別法人です。2022年以降に入社した職員全てが未経験からスタートしています。また、「女性の活躍促進宣言」を宣言し、女性の活躍促進に取り組んでいます。

●用地の仕事に専門的に携わることができる点や公共性が高く仕事を通じて、県民の生活環境の向上に貢献できる点に魅力を感じます。(2024年入社・30代男性 / 前職・市町村職員)

◇先輩職員から：愛知県の公共事業以外にも、国土交通省や県内市町村（清須市、みよし市、幸田町等）の業務を受託しています。

Q 2 職場の雰囲気や、休みのとりやすさはいかがですか。

●困ったことがあっても、お互いに相談しあえる雰囲気です。相互にフォローができていますので、休みもとりやすい環境です。(2022年入社・30代男性 / 前職・営業職)

◇先輩職員から：職場内でお互いが抱える課題等について情報交換するなど、気軽に話し合える雰囲気があります。

●チームで働き、相談しながら仕事を進められる環境で、雰囲気はいいと思います。オンオフの切り替えができ、プライベートの予定も立てながら仕事ができる点も魅力的で、休暇もとりやすいです。(2023年入社・30代女性 / 前職・飲食業)

◇先輩職員から：原則、業務（用地交渉）は、チーム（2名以上）で取り組んでいます。基本的に、自身で計画を立てながら業務（用地交渉）に取り組んでいます。

●課内で協力し合って業務を進めることができる良い雰囲気があります。休みについては、計画的に有給休暇を取得するように指示がありますし、子どもの体調不良等による突発的な休暇についても対応していただけです。(2024年入社・30代男性 / 前職・市町村職員)

◇先輩職員から：2023年の年次休暇取得の平均日数は、17日/人、平均取得率89.4%、夏季休暇取得率は100%です。また、夜間や休日の勤務は、事前に確認できるので、自身の計画が立てやすいです。

Q3 仕事のやりがい、面白さを感じるのはどんな時ですか。

●用地交渉を通じて、地権者の方のご理解・ご協力をいただいたときは、達成感があります。また、行政の一端を担い事業の必要性や、いきさつなどを知ることも仕事の面白みです。(2022年入社・30代男性 / 前職・営業職)

◇先輩職員から：愛知県のまちづくりの一端に携わり、近年では、ジブリパーク駐車場やリニア中央新幹線に必要となる土地の取得等に携わっています。

●1年目ですので、経験が十分にありませんが、自分なりに業務の流れや、つながりが理解できたときに面白みを感じます。さらに経験を積み、知識を広げたいです。(2023年入社・30代女性 / 前職・飲食業)

◇先輩職員から：様々な用地取得の経験を通じて、自身のスキルアップが実感できます。

●どのように買収を進めていくか計画を立て、計画どおりに進められたときにやりがいを感じます。また、用地の仕事は幅広い知識を求められますが、仕事を通じて知識を習得できたときに面白さを感じます。(2024年入社・30代男性 / 前職・市町村職員)

◇先輩職員から：幅広い知識を身に着けることにより、より多くのことができるようになり、自分に自信が持てるようになります。

Q4 仕事の厳しさ、難しさを感じるのはどんな時ですか。

●地権者の方からの厳しい要望と、こちらの考え方をすり合わせながら用地交渉を進めるなかで、なかなかご協力を得られない時は、この仕事の難しさを感じます。また、ひとつの事業に多くの方々が携わっていますので、関係者との調整も大変です。(2022年入社・30代男性 / 前職・営業職)

◇先輩職員から：厳しい言葉をかけられることも。それでも、ご納得頂けるよう、丁寧に、真摯に取り組んでいます。また、関係者との調整は、会議やヒアリングを定期的実施して、課題等を共有し、問題解決に向けて取り組んでいます。

●地権者の方にとって大切に思い入れのある家屋の移転などをお願いするときに、この仕事の厳しさや、難しさを感じます。このような時こそ、常に誠実で真摯に取り組むべき仕事であると痛感します。(2023年入社・30代女性 / 前職・飲食業)

●地権者によって、様々な事情があり、ときには交渉が難航することもあります。そのようなときに仕事の難しさを感じますが、交渉を重ね契約できたときには大きなやりがいを感じられます。(2024年入社・30代男性 / 前職・市町村職員)

◇先輩職員から：調整が難航した家屋移転が完了した後、地権者の方から「ありがとう。」と声を掛けて頂いたときは、苦労も忘れ、やりがいを感じます。

Q5 転職を検討されている方へ

●転職したい理由は人それぞれだと思いますが、個人プレーで業績を伸ばし、それに見合った給与を得たいと考えている方には向いていない仕事です。一方で、責任重大な仕事ですがメリハリのある働き方ができる職場です。(2022年入社・30代男性 / 前職・営業職)

◇先輩職員から：業務（用地交渉）は、チームで取り組むことが大事です。また、組織として、地権者の方に対応します。夜間や休日の業務もありますが、休日は振替できます。

●民間企業の異業種から転職を検討されている方は、特に不安が大きいと思いますが、未経験であっても学びながら仕事が進められ、分からないことも聞きやすい環境であることは大変心強いですよ。(2023年入社・30代女性 / 前職・飲食業)

●幅広い知識が求められますが、先輩職員のフォローもありますし、研修も充実しています。公共性が高く、県民・県政に貢献できる仕事でやりがいも大きいと思います。(2024年入社・30代男性 / 前職・市町村職員)

◇先輩職員から：2022年以降に入社した職員全てが未経験からスタートしています。また、用地取得業務に必要となる様々なスキルに関する研修を受講できます。また、皆さんのトレーナーとなる職員に対しても研修を実施して、学びやすい、聞きやすい環境づくりを心掛けています。